

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		小中学校学力等検査事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展					
総合計画体系	政策	3	教育の健幸	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	末永 舞		
	施策	9	義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	宮崎 淳子		
	業務分野	31	学力の向上、徳育・体育の推進	所属班	学務指導班	(内線)	5327		
予算科目		会計一般	款10	項2	目1	事業連番10627	他	法令根拠	なし
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	客観的な指標を用いて学力等の到達度を評価し、結果を指導法の改善に役立てることで児童生徒の学力等の伸長を図る。スポーツテストを実施し、データの分析処理を行い、学校における体育活動をより効果的に推進する。中学校3年生を対象とした英検受験を通じ、生徒の英語力向上を図る。
【業務の流れ】	学力検査、スポーツテストの委託業者の選定、委託契約事務、事業完了検査事務、委託料支払い事務 公益財団法人日本英語検定協会からの検定料の請求→請求内容の検査→検定料の支払い 英語チャレンジ事業の補助金の申請→補助金の決定→補助金の請求
【主な予算費目】	役務費、委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

客観的な指標を用いて学力・体力等の到達度を評価し、結果を指導方法の改善に役立てることで児童生徒の学力・体力等の伸長を図った。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

客観的な指標を用いて学力・体力等の到達度を評価し、結果を指導方法の改善に役立てることで児童生徒の学力・体力等の伸長を図る。

③予算の主な増減の理由

実績に伴う児童見込み数増による委託料の増

成果指標

標準学力検査における各学校の標準スコア  
→新体力テストA～Cの割合

(単位)

スコア  
%

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
スコア	ア	51.3	49.4	51.5	49.7	51.5	51.5	51.5	51.5
%	イ	0	0	71.2	71.9	72.4	72.4	72.4	72.4
千円	ウ					1,300	1,300	1,300	1,300
千円	都道府県支出金	1,219	1,174	1,213	1,383				
千円	地方債								
千円	その他			193		200	200	200	200
千円	繰入金								
千円	一般財源	13,888	14,045	15,387	14,713	15,100	15,100	15,100	15,100
千円	(A) 事業費計	15,107	15,219	16,793	16,096	16,600	16,600	16,600	16,600

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

体育活動への取り組みにより体力向上は目標を達成できた。学習面についても改善はしたが家庭学習に対する指導が十分でなかったため目標を達成することができなかった。

今後の学力向上に向けた取組として

①中学校区共通の学習規律の定着と児童生徒の規範意識支持的風土の醸成による「隠れたカリキュラム」の推進(黙想、返事、聞く態度など)

②教育(学習)相談の実施を通じた長期休業中の学習指導・生活指導の充実

③タブレットを活用した効率的な授業展開とデジタルドリルを活用した家庭学習習慣の定着

の3つの基本的な方向性を示し、各中学校区ごとにそれぞれの学校の学習課題にあわせた具体的な取組について計画、実施するよう指示した。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)